

屋久島環境文化村構想

屋久島環境文化村構想は、国際的にも学術的評価の高い屋久島の自然環境と自然を損なうことなく何千年にもわたって積み重ねられてきた屋久島特有の生活文化（これを環境文化と呼んでいます）を戦略的イメージとして掲げ、学習や研究によってその価値を見直すことを通して、屋久島の自然環境の保全を図るとともに自然と人とが共生する屋久島ならではの個性的な地域づくりの試みです。

① 屋久島環境文化村の基本方向（平成4年11月 屋久島環境文化村マスタープラン策定）



② 環境文化村整備のための事業体系

環境学習・研究施設の整備

- ①環境学習施設
- 屋久島環境文化村センター
 - 屋久島環境文化研修センター
 - 環境学習プログラム開発
 - 小さな博物館
 - 屋久島環境学習ネットワーク会議
-
- ②研究施設
- 屋久島野生生物保護センター
 - 研究者ネットワーク
 - 国際屋久島環境文化研究所

新たな地域産業の創出

- ①高付加価値型商品づくり
- 「環境文化村ブランド」の創設
 - ソフト商品の開発事業
 - 手づくり商品の開発事業
 - 環境文化村薬草・香料植物園
-
- ②1次産業の活性化
- 環境文化村果樹園
 - 環境文化村ブランドを軸にした農林水産品づくり
-
- ③「環境産業」創出の試み
-
- ④自然体験型観光「エコツアー」の開発
- 活動プログラムづくり
 - エコツアーのための基盤整備（継続的な調査、人材育成）
 - 利用調整方策との連携

環境形成事業の展開

- ①自然の保全活用のための基盤整備
- 環境と文化のむら整備事業
 - 情報案内システムの整備
-
- ②自然利用活動の調整・管理
- 環境キップ制度
 - 特定国立公園重点管理事業
-
- ③生活空間における環境基盤整備
- 屋久島環境道路整備事業
 - 高度汚水処理事業
 - ゴミの再資源化事業
 - 上水道の整備
 - 商店街再開発
 - クリーンエネルギーモデル事業の展開
-
- ④環境形成のための社会条件整備
- 環境条例（仮称）の制定
 - 環境モラルコードの策定
 - 「生命の砂一握り運動」の展開

国際的交流の展開

- ①交流のしくみづくり
- 芸術家・研究版「屋久島いとし」制度
 - 環境文化芸術祭（ピエンナーレ）
-
- ②情報の発信
- 屋久島自然情報誌
 - 屋久島自然解説ガイドブック
 - 文化村情報誌
 - 「屋久島環境文化村 東京フォーラム」事業
 - 国際シンポジウムの開催
 - 顕彰制度

ボランティア協力事業の推進

- ①ネットワーク形成
- 環境文化村ボランティアネットワーク
 - 文化人ゲストハウス
-
- ②参加・協力のしくみづくり
- 屋久島ファンクラブ
 - 顧問会議（仮称）
 - 環境文化村推進会議
 - クレジットカードの発行
 - 「環境文化企業」の募集
 - 生涯学習の町づくり
-
- ③運営のための組織
- 屋久島環境文化財団

注) ここに掲げた事業は、文化村の実現のために必要な事業を、熟度にかかわらず体系化したものであり、民間と行政が一体となって推進するものです。